

アンケート結果を受けて

野花

1【活動スペース】について

昨年も 広さに関しては何人かの方からご意見を頂きました。広いにこした事は無いかと思いますが、なにぶんにも床面積を広げるといのは容易なことでは無いので 今回も国が定めている法定基準との比較で報告させていただきます。

法定基準： 1人 3.3㎡以上

野花： 1人 5.5㎡ (面談室・事務所・トイレ等を除く)

1階に13畳の指導訓練室(DVD・発語・創作など) 6畳の課題・作業室 6畳の面談室。

2階に21畳の機能訓練室(サーキット・感覚統合遊び・集団遊び・壁絵など) で行っています。

(廊下の大黒板のスペース含む)

夏のプール遊びは6畳の屋根付き駐車場にプールを出して行っています。(ここは面積に含めていません)

小林町の「カフェ心風」1階面積約100㎡が利用できるようなれば 調理実習の場として各事業書の出張利用が出来るようになるかと思えます。

2【職員の配置・専門性】について

法定職員配置基準： 現場指導員 常勤換算2名以上

野花： 現場指導員 常勤6人 非常勤3人 (常勤換算7人)

注：管理者・児童発達支援管理責任者はカウント外

現場職員の資格基準： 現場職員2名の内最低1人は児童指導員若しくは保育士でなければならない。

野花： ・児童指導員 5人

・介護福祉士1人・強度行動障害基礎終了4人

・発語音楽療法士 1人

・ペアレントトレーナー 1人

・知的障害者福祉司任用 2人

・障害者スポーツ指導員 1人・強度行動障害実践 1人

注：複数資格保有者あり

『とっこ子』は活動に必要な資格をとる為の 特別有給休暇制度や交通費を含む研修費用の法人負担・事業所内研修(キャリア別に年6回計画)や県社協のキャリア・アップ研修の全員受講などを通し職員のスキルアップを図っています。

6【家族・地域に開かれた活動の機会】について

風の通らないところには 腐敗がおこることを多々見てきましたので、子どもたちの最善の利益の為に 常に開かれた状態を保って行きたいと考えています。ボランチアや福祉大の実習生の受け入れ、

学校関係者の見学も随時お受けしています。勿論 親御さんも見学も大歓迎です。希望される方はご遠慮なくお知らせください。

親の会さまや、常滑市社会福祉協議会さま 医療法人松翁会様などの多くの方々のご協力の下、「カフェ心風」も完成も完成に近づいています。お子様も保護者さまも私たち支援者も含めての、地域交流の場となることを夢見ております。また、毎年開催をさせて頂いております「とこっ子運動会」にも、是非ご参加ください(^_^)運動会には近隣の自治体の方々や地域支援を行っている方々へもお声を掛けさせて頂いております。【開かれた法人】を根本に今後も随時活動を展開していきたいと考えております。

8【子どもの状況・発達課題等の共有】について

年2回の支援計画のための面談以外は、希望者への『育児相談』という形になっていますが、日常的な共有を出来るだけ踏るために、送迎時にお母様方と短い時間お話をさせて頂いております。ただ、送迎の時間には他の子どもを車に乗せている状態となってしまうため 際だった出来事のみのお話となってしまうかと思えます。

順調に課題が達成している時ほど、「今日も、いい顔でした」の一言になってしまうかもしれません。問題行動やお家での悩みなど有りましたら、野花のお帳面にメモ書きなどを挟んでおいて下されば 対応させていただきますので宜しくお願いいたします。

9【育児相談・ペアトレ等の支援】について

育児相談やペアトレは 要望があれば随時受けさせて頂いております。

カフェ開設後は曜日を決めて茶話会のかたちで行っていきます。 専門書も常設予定です。『保護者同士の交流の場』としても気兼ねなく話会える場を作っていきたいと思えます。

11【苦情対応】について

行政の提案を受け、苦情対応マニュアルに乗っ取った、対応システムを作っています。監査の際に開示するのですが、現状 苦情が出たことが無く(業務改善が必要なレベル)苦情対応の報告に至っていません。 今後は、苦情件数等も皆様への周知の為に HP に乗せていきたいと思えます。

15【緊急時対応マニュアル】について

契約書類一式の中に入れており 年次契約時に周知。

16【非常災害への備え】について

事業所ごとに『防災担当』を決め、津波・火災・地震・不審者の4種類を想定した訓練を順番に行っています。非常食に関しては 15人が2日間過ごせる程度の備蓄をしています。訓練の様子は日報やお便りでご確認ください。

17【感染症・衛生面の配慮】について

感染症対応マニュアルを作成し、吐物処理の為の手順や消毒の仕方などを全ての人が行えるように

してあります。年に何回かは 読み合わせを行い記憶を新鮮に保てるよう配慮しています。

スタッフは全員インフルエンザの予防接種を受け シーズン中は空間除菌を全てのフロアで行っています。玄関には一年を通して手指消毒用の除菌薬を置き来所時には全員が手指消毒を行っています。一日の終わりには毎回アルコールで手すりドアノブなど手を触れる場所の消毒を行っています。吐物処理用の凝固剤や使い捨てエプロン手袋などのセットは各階に設置されています。施設内感染を極力防ぐため、手洗い用の水道はセンサーで水がでる用になっており、手で蛇口を触らなくて良いようになっています。

野花を安心して利用していただく為に、今後も保護者の方々の評価と事業所としての自己評価を行い研鑽に努めて参ります。

今回ふれていない点に関しても、疑問な点が有りましたら、随時対応させていただきます。 今後とも宜しくお願いいたします。

野花管理者 徳田 絵美